



学校通信

令和元年9月2日
東京都立葛飾盲学校長
田島 忍
(第6号)

今年度も「見え方の相談会」を実施しました

主任教諭 松島 賢知

本校では、視覚障害教育センター校としての取組の一つとして、足立区、江東区、葛飾区の小学生を対象に「見え方の相談会」を毎年実施しております。今年度で足立区は8回目(7月20日)、江東区は6回目(7月28日)、葛飾区は4回目(8月24日)の実施となりました。

「お子様の目の使い方、気になることや相談したいことがありましたら、どうぞお気軽にお申し込みください。」

足立区立の全小学校1・3・5年生(約16000人)と江東区立の全小学校1・3・5年生(約11500人)及び葛飾区立の全小学校1・3・5年生(約11000人)に「見え方の相談会参加申込書」を配布して行います。

申込者は年々増える傾向にあり、今年度は足立区47名(申込率0.29%)、江東区30名(申込率0.27%)、葛飾区39名(申込率0.36%)の申し込みがありました。

相談内容としましては、視機能や視覚認知に関するもの、発達障害が疑われるケースへの対応など幅広く、具体的には、視力に問題がある、眼疾患がある、斜視と診断されている等の他、書くことを嫌がり真っ直ぐ書けない、眼球運動に問題がある、視覚認知が弱いなどがあります。

一人あたり30分の時間を使い、じっくりと主訴を聞きながら、学習面・生活面・環境面等でのアドバイスをを行っています。相談後安心したり、今後の方向性が見えたりしたことで、晴れ晴れとした表情で会場を後にする親子の様子が、毎回印象に残ります。

毎年参加して下さる方も多数おり、開催を待ち望んでいる声も聞きます。葛飾盲学校は、「見え方の相談会」を通して、地域におけるセンター校としての役割を果たしています。

<寄宿舎 夏の開舎>

8月1日と22日の2日間、「寄宿舎 夏の開舎」を実施しました。ゲームやベランダでの水遊び、プロの音楽集団「Music BoX」による演奏会などの活動で、どの活動も久しぶりに会った友達と一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。(文責:相澤)

